

小郡市の教育条件整備運動の経緯

小郡市は、1970年代から学校、保護者、行政などと連携して、教職員の「加配(学級数に応じた数以上に教職員を配置すること)」要求などの教育条件整備運動が始まりました。部落差別により教育の機会を奪われ、十分な教育を受けることができなかった被差別部落の親たちの「自分と同じ思いや状況に立たせたくない」という切実な思いがあったためです。

この取組によって配置された教職員は、すべての子どもたちの進路・学力保障をめざし、複数の職員による授業や個別指導、教育相談、家庭訪問など多岐にわたる活動に活用しています。



今年も市民の声をもって、県・市教育委員会への要請行動を行います

教育条件整備運動は保護者や地域の皆さんのご理解とご協力をいただき、この数十年、約3万人(筆)の賛同をいただいています。こうして集約した「市民の声」は、小郡市、小郡市教育委員会、福岡県教育委員会への要請時には必要不可欠なものになっています。

今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者や地域の皆さんが各家庭を回って行う署名の集約を中止し、「市民の声」を代表する組織や団体の代表者名による団体署名に取り組みます。

市内のすべての小・中学校、そして5中学校区の「人権のまちづくり」をはじめ、子どもの育ちと学びに関わる関係者が連携した小郡の教育要求運動にご理解とご協力をお願いします。

「地場産くるめ」をぜひご利用ください

今年で設立40年目

問地場産くるめ物産館東合川店 ☎44-3700

「地場産くるめ」とは

地場産くるめは、小郡市のほか、久留米市・八女市・筑後市・大川市・うきは市・大刀洗町・大木町・広川町の6市3町の地方公共団体を始め、多くの企業など64団体で構成されています。地場産品は、古くから地元の人々に愛されてきた特産品のことで、地場産くるめではこの地場産品のPR販売を行っています。



さまざまなイベントを開催しています

久留米餅や藍胎漆器(らんたいしっき)などの伝統工芸品を始め、地酒や菓子、ラーメンなどを販売しています。また、さまざまなイベントも開催しており、代表的なイベントは毎年3月の「藍・愛・で逢いフェスティバル」です。なかでもファッションショーが大人気で多くの久留米餅ファンで賑わいます。

毎月11日は「いい日地場産の日」として、商品を11%引き(一部商品除く)で販売しています。



地場産くるめは東合川店のほか、2店舗を運営しています

■地場産くるめ物産館六ツ門店 ☎36-0006 ■地場産くるめ物産館JR久留米駅店 ☎27-5510